

議会だより のだ

ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp/>
Eメール gikai_jimukyoku@vill.noda.iwate.jp

2019
8/9

第148号

介護を体験

第16回定例会（令和元年6月）

主なもの

特集「中学生の議会傍聴」・・・P2
定例会で決まったこと・・・P3, 4
村政に鋭く切り込む・・・P5～9
追跡レポート・・・P11

7月5日、「介護予防教室どっこいしょ～お達者同窓会 in 野田中学校～」が行われ、同校3年生と65歳以上の村民が参加し、介護予防などについて理解を深めました。

野田中学校3年生が議会傍聴

白熱議論に耳傾ける

第16回野田村議会定例会が6月11日から14日までの4日間を会期として開催されました。本定例会に提出された主な議案は、一般会計・各特別会計の補正予算や専決処分報告、医療費給付条例の改正案などが提出され、審議しました。13日には、議員5名が一般質問を行い、当日は野田中学校の生徒が議会傍聴に訪れました。

答弁する
小田村長（左）と
小原教育長（右）



中学生の議会傍聴

13日に行われた一般質問では、野田中学校の3年生31名が議会傍聴に訪れ、午前中に行われた山田議員の一般質問のようすを傍聴しました。一般質問を傍聴した中学生からは、「村民の声を中心とした議論だと感じた」「自分達に関わる身近な議論も多くびっくりした」「議会での話し合いがあった、住みやすい野田村があることを改めて実感した」といった感想がありました。

皆様の議会傍聴を
お待ちしております

定例会は年4回、3月・6月・9月・12月の各月に行われます。

会期日程は、のんちゃんネットでのお知らせをご覧ください。どうか、議会事務局（78・2934）までお問い合わせください。

傍聴にお越しの際は、受付をして次の注意事項に従って傍聴してください。

【議会傍聴の注意事項】

- 会議場内の言論に対して、可否を表明してはいけません。
- 騒いではいけません。
- 私語をしたり、喫煙や飲食してはいけません。
- いかなる場合も、議席に入ってはいけません。

6月定例会で 決まったこと

医療費給付条例

現行の各種医療費給付に関する条例や規則を整理統合し、さらに助成内容を一部、変更しようとする「子ども、妊産婦、重度心身障害者、ひとり親家庭及び寡婦等医療費給付条例」が提出され、可決されました。

この条例は令和元年8月1日から施行されます。主な変更点は次のとおりです。

○妊産婦医療費を無償化
○小学生まで現物給付を拡大

医療費の 現物給付って？

原則、医療費助成を受けるためには病院の窓口で自己負担分を支払い、申請した後に、医療費が戻ります。これを償還払いと言います。これに対して、現物給付とは、病院の窓口で被保険者証と医療費助成受給者証を提示することで、窓口での支払いが不要となる制度です。

消防ポンプ自動車購入

「財産の取得に関し議決を求めることについて」として、消防防災のための消防ポンプ自動車の買い入れに関する議案が提出され、可決されました。消防ポンプ自動車の取得予定価格は2570万4千円で、契約の相手方は盛岡市の株式会社ダイトクです。



火災や災害が起きないことを祈ります

令和元年度一般会計補正予算（第2号）

予算総額を**40億7224万8千円**へ
(4116万9千円の増)

～ 主な補正内容 ～

【歳入】

- 指定寄付金・・・・・・・・・・ 200万円増額
- プレミアム付商品券事業費補助金・・・・ 500万円増額
- 子育て支援対策臨時特例事業費補助金・・ 252万円増額

【歳出】

- 十府ヶ浦公園備品購入費・・・・・・・・ 550万円増額
- 風しんの追加的対策事業・・・・・・・・ 490万円増額
- 野田村観光協会補助金・・・・・・・・ 200万円増額

予算繰越事業報告

平成30年度内に完了しなかった事業について報告があり、これに係る予算は令和元年度の各会計に繰り越して事業を執行します。

(単位：千円)

会計	事業名	事業内容	総事業費	繰越額
一般会計	簡易水道事業特別会計繰出金	一般会計から簡易水道事業特別会計へ予算を繰出すもの	23,500	23,500
	岩手県畜産競争力強化整備事業	株式会社のだファームによる養豚施設整備に対する補助金	287,382	287,382
	国民宿舎事業特別会計繰出金	一般会計から国民宿舎事業特別会計へ予算を繰出すもの	28,431	28,431
	橋りょう修繕事業	橋りょうの補修工事を実施するもの	24,632	24,632
	村道城内二又線改良事業	村道城内二又線の改良工事を実施するもの	21,000	21,000
	公共下水道事業特別会計繰出金	一般会計から公共下水道事業特別会計へ予算を繰出すもの	117,000	117,000
	教職員住宅整備事業	教職員住宅を新たに整備するもの	44,082	44,082
	体育館屋根改修事業	村体育館の屋根を改修するもの	54,557	54,557
	野田村役場庁舎受電設備等災害復旧事業	役場庁舎の受電設備（キュービクル）の復旧工事をするもの	86,581	86,581
特別会計	公共下水道施設整備事業	公共下水道施設の整備を行うもの	503,000	503,000
	簡易水道施設事業	簡易水道施設の整備を行うもの	48,850	48,850
	国民宿舎えぼし荘耐震補強事業	国民宿舎えぼし荘の施設耐震補強工事を行うもの	28,431	28,431

補正予算

寄付金

問 指定寄付金200万円の内容は。

答 首都圏の企業3社から、音楽を通じて被災した村民に元氣になってほしいということと併せてコンサートとの経費に充ててほしいとのことであったため、寄付額分を野田村観光協会の補助金として併せて予算措置している。



心温まる寄付に感謝し、祭りを盛り上げます

移住支援

問 移住支援事業費補助金の内容は。

答 県と県内全市町村が共同して実施する新たな事業で、東京都などから本県へ移住し、就業した方へ

風疹対策

問 風疹の追加的対策委託経費の内容は。

答 国の緊急的な風疹の追加対策として、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象に抗体検査を実施し、抗体価が低い方に予防接種を行うもの。対象者は平成31年4月1日現在で467人であり、そのうち抗体価が低い方を2割程度と見込み、100人分の費用を予算措置するもの。

十府ヶ浦公園

問 十府ヶ浦公園備品購入費の内容は。

答 十府ヶ浦公園の多目的イベント広場にジャングルジムや滑り台が一体となった幼児用の複合遊具を整備するもの。財源の中には、NTTドコモ社員による東北応援社員募金という事業を見込んでおり、今後、正式に決定され次第、財源分の予算も補正するもの。

問 遊具の選定について、児童の父母等からの希望は組み入れられているか。

答 現在の遊具は対象年齢が6歳から12歳程度で



集いの場の形成が期待されます

あるが、そこで遊んでいた子供の母親の方から、小さい子供でも遊べるような遊具が整備できないか相談があったことを受けて、3歳から6歳程度の小さい子供でも安全に遊べる遊具を整備したいと考えている。

村政を問う

一般質問

5人が登壇

山田陽子議員

— 少人数学級導入に向け要望活動 —

米田忠一議員

— 免許返納者への支援策は —

古舘幹男議員

— 漁業の将来展望をどう見る —

米田徳一郎議員

— まちなか賑わい再生事業評価は —

宇部武典議員

— 国保税18歳未満の均等割減免は —



山田 陽子 議員

少人数学級導入に向け要望活動を

村長 教職員定数制度の見直し等要望していく



久慈工業高校を守り育てる会と連携していく必要があります

問 高等学校再編の後期計画の策定に向けた地域検討会の内容と今後の取組みは。また、学級定数を減らすよう国に働き掛けるべきでは。

村長 地域検討会議では、少人数学級の導入を検討すべきとの意見があったが、現行制度では、学級定数を減らしても在籍生徒数が変わらず、教員数のみが減少することとなり、生徒の多様な進路選択への対応が難しくなることから、県では学級定員は現行を維持しつつ教職員定数制度の見直しを要望していくとのこと。

村としても様々な機会で見守っていく。

健康増進のためのトレーニング機器整備を

問 「あづび」のトレーニング機器の利用再開の状況は。また、村でのトレーニング機器整備の検討状況は。

村長 「あづび」に対して事業再開に向けた体制整備を要請している。また、役場内プロジェクトチームからボルダリングやトレーニング機器等の整備の提案があったが現実的にハードルが高い。

県北横断道路整備要望国・県の反応は

問 北岩手北三陸横断道路の整備は、通勤圏が拡大するなどメリットが大きいと考えるが、国、県への要望の感触はいかがか。

村長 命の道路として必要不可欠な道路であるが、まだスタート段階であり、まずは国、県等の関係機関に必要性を認識してもらうことが大事である。今後は、県央部の市町村も含めた組織として運動を拡大していきたい。

体育館の暖房環境整備が必要ではないか

問 体育館の暖房にはジェットヒーターを利用しているが、冬期間は日常的に暖房環境を整えてほしいとの声があるがどのように捉えているか。

教育長 日常的な暖房環境を整えるためには相当の改修が必要となるため、現状、即効性のあるジェットヒーターを活用しており、さらなる充実化を検討していく。

スポーツイベントでの村の対応は

問 スポーツイベント等の際、歓迎の横断幕やのぼり旗等を設置する考えは。

村長 歓迎表示は工夫の必要があると感じており、必要に応じて臨機に対応したい。

問 村内業者による売店の組織が必要と感じたが、構築の考えは。

村長 村商工会の主導により整備されることが望ましいと考えている。

問 ライジングサンスタジアムのトイレを洋式化する考えは。

教育長 屋内外それぞれのトイレに洋式トイレが設置されており、既存の和式トイレを洋式化することは、スペースや配管の問題から難しいと考えている。

【その他の質問】

・マラソン大会等での熱中症対策について
・教職員の働き方改革について

免許返納者への支援策は



米田 忠一 議員

村長 総合的に検討していきたい

問 社会問題となっている高齢ドライバーによる交通事故に対する認識は。

村長 交通事故死者数、事故件数は減少傾向だが、高齢ドライバーによる事故の割合は依然として高く、大きな課題と認識している。

問 運転免許証自主返納者に対する支援制度は。また、久慈広域首長間での話し合いはあるか。

村長 本村では、村営バス料金を無料化しているほか、洋野町でも町営バスの料金無料化、久慈市では商品券やバス・タクシートの乗車券を交付するなどの支援



を行っている。広域首長間での話し合いはないが、広域市町村や三陸鉄道等公共交通機関と連携して、総合的に検討していきたい。

国道45号改良工事 進捗状況は

問 国道45号の改良工事に着工してから久しいが、進捗状況が見えない。どのような状況か。また、早期完成を働きかけるべき。

村長 防潮堤の基礎工事で、想定より浅い位置に岩盤があったため設計変更を余儀なくされ、作業員や資材等の手配に時間を要し、工事が遅れたようである。全体の完成時期は来年度中を目標しているとのこと。

十府ヶ浦海岸砂浜再生 要望の手応えは

問 十府ヶ浦海岸の砂浜再生について、県に対する要望の感触は。

村長 県では、施設完成後、汀線の状況を見て、村や関係機関と調整したいとのこと。

十府ヶ浦公園パークゴルフ場の改修の考えは

問 パークゴルフ場は、冬期間には大変な賑わいを見せ、多くの村民も施設整備の成功を認識したと思うが、著しい水はけの悪さを抜本的に改修する考えはないか。

村長 当該施設は津波防災緑地として整備したもので、抜本的な改修は困難だが、管理している協会と対応を検討したい。

ライジング・サン・スタジアムの改修は

問 ライジングサンスタジアムのスコアボードを洋野町のものと同等に改修する場合の費用を示せ。

教育長 当該施設は平成12年に完成、21年度にスコアボードの改修を行ったが、10年が経過しているため、今後、財源も含めて検討したい。洋野町のスコアボードと同等に改修する場合の費用は1億円を超えると思われる。

小学校改築構想の進捗は

問 小学校の改築構想の進捗状況は。

教育長 検討会組織を立ち上げ、立地場所や学校の持つ役割など検討し、計画を策定していきたい。

児童の学力テスト結果は

問 昨年度の小学6年と中学3年の全国学力テストの結果は。

教育長 小学校6年生は、国語、算数、理科とも全国平均を1・7%から11・5%下回っている。中学校3年生は、国語Aは2・9%上回っているが、数学、理科では2・1%から11・1%下回る結果となった。

※出典：警察庁ウェブサイト
(www.npa.go.jp)



公共交通機関が充実していない地域では運転免許証返納者に対する支援が必要です



古館 幹男 議員

漁業の将来展望をどう見る

村長 漁協組合員が減少し、危機感を感じる

問 農業・漁業の生産高を示せ。

村長 米を除く農業の生産量と金額は、平成28年度は493トンで6124万円、29年度は445トンで5596万円、30年度は434トンで5772万円。漁業の水揚量と金額は、平成27年度は2052トンで5億1949万円、28年度は2123トンで5億4194万円、29年度は2130トンで6億3972万円である。

問 野田村漁協の組合員の推移を震災前と比較し、示せ。

村長 震災前の平成22年は190人、平成29年時点では139人とのこと。

問 漁協でも新たな事業等をしていかなければ漁家の後継者が増えていかないと考えてるが、行政の対応は。

村長 漁協組合員が非常に減ってきており、このことは漁協とも危機感を共有している。現在、漁業担い手



村を支える第一次産業の発展のため、担い手育成が不可欠です

育成協議会を設立し、定期的に情報交換を行っているが、現段階で成果は出ていない。

日本一安心、安全な地域(村)宣言しては

問 目を覆いたくなるような事件、事故が頻繁に起き、尊い命が犠牲となつている。野田村で安心、安全に暮らせる地域(村)宣言をしてはどうか。

村長 本村は犯罪等の発生件数が少なく、安心して安全に暮らすことができる環境にあると思うが、自然環境も大きく変化してきており、いつ、どこで、どのような災害が発生するか分からない状況であることから、今後とも安心安全に暮らせるむらづくりに傾注していく。

問 地方は安心して子育てできるということを宣言、発信することで宣伝になると考えるが、村長の考えは。

村長 子育て支援に力を入れており、子育てをしやすい村であるということは様々な場面で発信している。安全、安心について、取り組みの姿勢をアピールできるよう工夫したいと考えている。

国・県の施設を誘致する考えは

問 内陸には国、県の施設が設置され、様々な面で充実し、その施設に配置・配属される人との交流もある。人口減少の進む沿岸地域にこそ、国、県の施設を誘致し、人口減少に歯止めをかけていくべきと思うが、村長の考えは。

村長 これまで立地要件等諸条件に恵まれず、非常に残念に思っているところであり、今後機会があれば積極的に取り組んでいきたい。

まちなか賑わい再生事業 評価は



米田 徳一郎 議員

村長 周辺の賑わい創出に繋げる取組みが必要

問 まちなか賑わい再生事業の成果と課題、公園や展望施設等の管理、利用状況の分析と今後の対策、区画整理区域の空き地解消策を示せ。

村長 まちなか賑わい再生については、商工会が「ねまゝる」を拠点にプチよ市など各種イベントの開催やテナント出店など起業支援を継続しており、今年は1件の出店が予定されている。課題としては多様なイベントなどを開催し、周辺の賑わい創出に繋がる取組みが必要。

施設については、村内の

各種団体等と有償・無償ボランティアにより維持管理や利活用がされている。空き地解消については、現行の空き家バンクを活用していただきながら土地の有効利用が図られるよう支援する。

過疎地域自立促進事業選定の考え方は

問 過疎地域自立促進特別措置法が令和3年3月末で失効するが、自立の時期をどのように捉え、事業を選定しているのか。

村長 過疎指定から外れる



まちなか賑わい再生のため、空き地の解消が望まれます

ことが自立の時期と考えれば、過疎地域自立促進特別措置法の期限等である令和2年度が自立の時期を判断する年度と考える。事業選定については、事業の緊急性、必要性及び補助がない単独事業等を期限を見ながら選定している。



過疎対策債により小学校の改築などの事業が行われる予定です

在宅介護の状況は

問 介護保険制度の基本理念は、介護を必要とする人が適切なサービスを受けられるように社会全体で支え合うことを目的とした制度で、施設介護を経て在宅での介護を目指すところだが、現実では非常に難しい。在宅介護支援制度の詳細と支援施設、スタッフ配置状況、制度の利用状況を示せ。

村長 在宅介護支援は、介護が必要な方やその家族の希望をもとに介護計画書（ケアプラン）の提案や介護サービスを行うことで、住み慣れた環境での暮らしを目指すもの。介護サービスには、訪問介護、通所介護、認知症に特化した認知症対応型通所介護、短期入所生活介護、福祉用具の貸与や購入があり、現在263名が利用している。業務を担う介護支援専門員は居宅介護支援事業所に3名、地域包括支援センターに1名配置されている。今後、要介護者の増加が想定されるため、介護支援専門員の不足が課題となる。

シルバー人材センター整備する考えは

問 少子高齢化や後継者、担い手不足で困っている農家や漁家等の支援団体としてシルバー人材センターの設置の考えは。

村長 シルバー人材センター的なものも含め、労働力を提供したい人と提供を受けた人とを繋ぐ体制を構築したいと考えている。



宇部 武典 議員

国保税 18歳未満の均等割減免は

村長 年齢に応じた減免は考えていない

問 18歳以下の「均等割」免除は、150万円前後の予算で実施可能だが、村長の考えは。

村長 子育て支援事業全般に取り組んでおり、現時点で年齢に限定した減免は考えていない。

問 平成29年度国保会計で9670万円余りの多額の次年度繰り越しがあるが要因は。

村長 国保税の収納率確保や医療費給付費の減少等によるもの。

問 国保財政調整基金が約5370万円と標準の2倍以上あるが理由は。

村長 高額な医療費の支出に対応するため今後も残高を維持する考えである。

問 繰越金・財政調整基金の一部は、国保加入者の税負担の軽減のために活用されるべきと考えるが、村長の見解は。

村長 国保の広域化で財政運営状況も変化しており、状況に合わせて、今後検討していきたい。

震災復興取組みを問う

問 被災者の医療費・介護保険利用料の免除の継続が望まれるが、村の対応は。

村長 県は継続実施を検討しており、村も継続を要望している。

問 災害公営住宅家賃の軽減対策周知徹底と入居者を守る方策は。

村長 一般の村営住宅も含め最大90%の減免を行い、収入超過者の家賃を引き上げず、継続入居を可能としている。



震災から8年が経過しましたが、今後も継続して支援策を講じていく必要があります

問 災害公営住宅で被災者の家族が引き継いで入居できる方針に変わりはないか。

村長 入居条件が合えば承継を承認する方針で今後も柔軟に対応する。

宇部川の河道掘削等要望すべきでは

問 野田橋近辺の河床掘削と宇部川水門外側から防潮堤までの河道掘削を県に申し入れるべきではないか。

村長 計画的な堆積土砂の撤去や支障木除去を引き続き要望していく。

村の教育を問う

問 学力テストは、正答率の競争になってしまっているという学校現場からの声もあるが、どう捉えているか。

教育長 正答率を高めるための事前練習は小・中学校とも行っており、テストの分析結果をもとに学力向上に取り組んでいる。

問 児童・生徒の表彰や実践発表中心の生涯学習大会のモチ方は検討をすべきではないか。

教育長 意見を聞きながら工夫していきたい。

清潔検査の必要性問う

問 自宅の清掃は、それぞれの自主性・自発性に任せていいのではないか。

村長 きれいな村づくりに一体的に取り組める良い機会との意見もあるため、これまで通り実施したい。

【その他の質問】

・消費税10%中止について
・ごみ減量化について

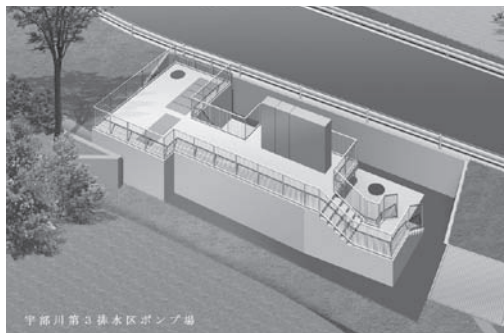
7月臨時会で 決まったこと

第15回野田村議会臨時会
が、7月4日を会期として
開催されました。
提出された議案等は、報
告1件、議案1件の計2件
で議案1件は原案のとおり
可決されました。

宇部川第3排水区 ポンプ場

問
機械設備を含めた施設
の完成時期は。

答
年度内の完成を予定し
ている。



宇部川第3排水区ポンプ場
第5排水区ポンプ場に続き整備されます

議案内容と審議結果

第16回定例会（6月11日～14日）

議案番号	議案名及び内容	結果
報告第1号	平成30年度野田村一般会計予算繰越明許費の報告について ⇒年度をまたいで事業を行うために、その事業に必要な分の予算を翌年度に繰り越すもの。	—
報告第2号	平成30年度野田村公共下水道事業特別会計予算繰越明許費の報告について ⇒年度をまたいで事業を行うために、その事業に必要な分の予算を翌年度に繰り越すもの。	—
報告第3号	平成30年度野田村簡易水道事業特別会計予算繰越明許費の報告について ⇒年度をまたいで事業を行うために、その事業に必要な分の予算を翌年度に繰り越すもの。	—
報告第4号	平成30年度野田村国民宿舎事業特別会計予算繰越明許費の報告について ⇒年度をまたいで事業を行うために、その事業に必要な分の予算を翌年度に繰り越すもの。	—
承認第1号	平成30年度野田村一般会計補正予算（第6号）の専決処分に関し承認を求めることについて ⇒地方交付税等の額が確定したことなどに伴い、補正予算を専決処分したもの。	承認 （賛成全員）
承認第2号	平成31年度野田村一般会計補正予算（第1号）の専決処分に関し承認を求めることについて ⇒森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律施行規則の施行に伴い、補正予算を専決処分したもの。	承認 （賛成全員）
承認第3号	野田村税条例等の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて ⇒地方税法等の改正に伴い、平成31年度の賦課事務に支障をきたすことのないよう専決処分したもの。	承認 （賛成全員）
議案第1号 議案第8号	令和元年度一般会計及び各特別会計補正予算 ⇒各会計の予算額を補正するもの。	可決 （賛成全員）
議案第9号	子ども、妊産婦、重度心身障害者、ひとり親家庭及び寡婦等医療費給付条例 ⇒子ども医療費受給者について、12歳到達年度末までの対象者の給付方法を変更することに伴い、所要の整備を行うもの。	可決 （賛成全員）
議案第10号	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例及び野田村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 ⇒特別職の職員と議員の外国旅費等について、国に準じて定めるもの。	可決 （賛成全員）
議案第11号	財産の取得に関し議決を求めることについて ⇒消防ポンプ自動車を買い入れするもの。	可決 （賛成全員）
発議案第1号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、政府予算拡充を求める意見書の提出について ⇒地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるよう要望するための意見書を提出するもの。	可決 （賛成全員）
発議案第2号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について ⇒過疎地域に対する支援の充実・強化を図るための過疎対策法を制定するよう要望するための意見書を提出するもの。	可決 （賛成全員）

第15回臨時会（7月4日）

議案番号	議案名及び内容	結果
議案第1号	公用車の運行管理瑕疵に係る損害賠償事件に関する専決処分の報告について ⇒村公用車による交通事故に伴う損害賠償が発生したもの。	可決 （賛成全員）
議案第2号	宇部川第3排水区ポンプ場建設（土木）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて ⇒宇部川排水区ポンプ場の土木建設工事を行うため、施工業者と契約を締結するもの。	可決 （賛成全員）

問 荒海ホタテを地元でどうPRしていくか。

※平成30年3月・定例会・一般質問から

答 学校給食との連携を検討している。

野田小学校で「荒海ホタテ給食」を実施



村の主催により、昨年からは野田小学校で、荒海ホタテ給食が行われています。

今年は7月17日に荒海団12名が同校を訪れ、5年生29名に荒海ホタテの育ち方などの説明をしました。給食ではホタテのソテーなどが出され、児童は食を楽しみながら、村特産の海の恵みに理解を深めました。

議会だよりクイズ

《問題》

村議会定例会は何月に開催される？

- ① 1月、4月、7月、10月
- ② 2月、5月、8月、11月
- ③ 3月、6月、9月、12月

正解者の中から抽選で3名の方に
豪華景品をプレゼント！

【応募方法】

はがきやFAXなどで、答え、住所、氏名（ふりがな）、年齢、連絡先を記入してご応募ください。応募は一人1通までとし、匿名での応募は受け付けません。議会だよりに対するご意見もお待ちしております。

【応募先】

〒028-8201 九戸郡野田村大字野田20-14
野田村議会事務局「議会だよりクイズ」係まで
FAXの場合は 0194-78-3995 まで

【締め切り】 8月30日消印有効とします。

【当選発表】

次回号で当選者（特に断りが無い限り氏名）を発表します。

☆前号（147号）の当選者☆

「澤口和さん」、「北田ひとみさん」、「坂本ユキさん」

議会の動き

3月

- 12日 野田中学校卒業証書授与式・・・全議員
- 16日 野田小学校卒業証書授与式・・・全議員
- 19日 村社会福祉協議会第3回理事会・・・議長
- 23日 三陸鉄道リアス線開通記念式典・祝賀会
（宮古市）・・・議長
- 25日 村PTA連合会主催教職員送別会・・・全議員

4月

- 5日 野田中学校入学式・・・全議員
- 6日 久慈工業高等学校入学式・・・全議員
- 8日 野田小学校入学式・・・全議員
- 9～10日 北部地区町村議会議長会通常総会
（秋田県）・・・議長、副議長
- 13日 鈴木俊一先生を囲む早春の集い
（久慈市）・・・議長

5月

- 16日 町村議会議員研修会（盛岡市）・・・議員2名
- 17日 （株）のだファーム事業説明会・・・副議長
- 20日 震災伝承施設の登録証伝達式等
（宮古市）・・・議長
- 20日 道路関係縦軸2団体合同総会
（宮古市）・・・議長
- 23日 国道455号・盛岡普代間道路整備促進期成
同盟会通常総会（盛岡市）・・・議長
- 23日 村商工会通常総会・・・副議長
- 28～29日 議長・副議長研修会（東京都）・・・議長、副議長
- 30日 県土整備部関係団体合同総会・・・議長

お詫びと訂正

議会だより のだ（No.147）5ページの予算特別委員会の見出しに誤りがありました。次のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

- 予算特別委員会
- × 決算特別委員会

あとがき

梅雨空がいつの間にか連日の真夏日となり、熱中症に留意の毎日です。
村議会議員選挙も終わり、現広報編集委員による最後の議会だよりとなりました。新体制になっても、研鑽を進め、見やすい・読んでもらえる紙面づくりに取り組んでまいります。

（米田忠）

発行責任者

議長 貳又 正人

広報編集委員会

委員長	中川 大和
委員	米田 忠一
副委員長	岩岡 吉比古
委員	八幡 文耕
委員	内野澤 進